

Bearstalk Snow

リフレケア通信 124号

2019年9月 雪印ビーンスターク株式会社
ライフサイエンス事業部 発行

月和名の由来：9月「長月」…秋の夜長という意味の「夜長月(よながつき)」が略されたという説が有力です。他に雨が降る時期なので「長雨月(ながめつき)」の略説、稲を刈る時期で「稲刈月(いねかりつき)」の略説、「長」という字に稲が毎年実ることを祝う意味がある説などがあります。

シリーズ第19弾～2
口腔ケア最前線

②災害時の備えと避難所環境について

医療法人明誠会 サンデンタルクリニック 院長(宮崎県宮崎市)

ごとう だい
後藤大 先生

私たち歯科の発災時の役割の一つとして「歯科保健活動」が挙げられます。災害発生時には、日常とは大きく異なる避難生活が強いられ、生活環境の変化、精神的なストレスも加わり、体調を崩してしまう方がいらっしゃいます。普段より飲み込む機能が低下している高齢者の方々、入れ歯を外さず洗浄されないまま支給される食事を摂られている方などは、特に誤嚥性肺炎を発症しやすい環境になってしまいます。熊本地震での災害支援では、口腔内の清潔を保つよう歯磨きが大切ですよという啓発と併せ、呼吸器疾患の予防や、安全に安心して食事を摂れるよう口腔機能に關してもサポートできるように活動してきました。



一方宮崎県で行われている避難訓練では、災害発生前に歯科の私たちができることとして、義歯の洗浄や、歯磨きが人前でなく落ち着いてできる環境を整えることで、長引く避難生活をされている方の誤嚥性肺炎の予防につながればと考え、協賛いただいた口腔清拭シート(リフレケアW)や口腔ケア用ジェル、洗口剤などをお配りしながら、来場者に実際に使用方法を説明し、体感していただける簡易洗面台を備えた「歯磨き手洗いスペース」を設置し啓発活動を行いました。

2～3日歯磨きをせずに食事をして過ごすということは、普段の生活の中では平気で過ごすことはできないはずですが、被災状況によっては歯磨きができない状況になってしまうことも多分にあるかと思えます。また、災害発生時には水が使えなくなる可能性が高いことや、使用後の処理について考えても口腔清拭シートは、生活環境が整うまでの口腔内を清潔に保つのに非常に有用な備えではないかと考えています。是非皆さんもご家庭で災害時にはこういったこともあるかもしれないとお話ししながら、非常避難袋にご家族人数分の歯磨きセット等の備えをお願いします。

これからも備えることの大切さと併せ、食物を噛んで、安全に飲み込み、体に栄養として取り入れ、排泄の部分まで一貫して整え、普段であれば苦勞することなく当たり前に行われていることを、被災された方々が我慢せず、誰もが安心して避難生活を送れるような避難所環境をどのように整えるべきか考えていかなければなりません。歯科関係のみならず、他職種の方々ともこれからも一緒に考え、悩み、連携をより深め今後も訓練等に関わっていきたくと考えています。



次回もお楽しみに♪

【指示待ちスタッフと自立待ち院長の戦い】

株式会社Dental Hygeia代表取締役
歯科衛生士

にしより あや
西依 亜矢先生

今回は、スタッフ教育について考えてみたいと思います。

スタッフ教育のご相談で「自主性がない」という言葉をよく聞きます。そこで考えてみたいのですが、指示待ちスタッフは「ダメなスタッフ」なのでしょうか？

人は様々な個性があり、全てにおいて優れた人もいないように、全てにおいて劣る人もいないと思います。要するに「見る人による」のです。仕事を与えてその後の自主性をただ待つのではなく、相手の適性や考えを知り自主性を発揮できるステージ(仕事)を与えること、また自主性だけでない評価基準を持つ(例えば高い協調性は組織をつくるうえで重要なスキルです)といったことも必要なのではないでしょうか？

そのような人材マネジメントを可能にするために、スタッフのプロファイリング(性格分析・統計学気質診断など)や人事評価制度を準備するなど「待ちだけじゃない、スタッフへの自立支援」が求められています。



口腔ケアセミナーin札幌セミナーレポート

北海道支店 販売企画課 辰己 朋美

6月29日(土)北海道経済センターにて「リフレケア口腔ケアセミナーin札幌」を開催し約190名の病院・歯科・施設等の医療関係者の方にご参加頂きました。初めての会場で空調がうまく調整できなかったりと、ご迷惑をおかけした点もありましたが無事に開催することができました。

前半に兵庫医科大学 歯科口腔外科学講座 主任教授 岸本裕充先生に「口腔ケア・オーラルマネジメントで食べられる口をCREATE」としてケアの専門的なポイントやリフレケアについてもお話し頂きました。

後半に旭川医科大学医学部看護学科 助教 石川千恵先生に「口腔ケアが必要な精神障害者がその人らしく生きるためのケアの実際」とし精神障害者との関わり方についてお話し頂きました。

参加者の皆様から「義歯の効果は噛むことだけではない事を学べた」「個々に合わせたアセスメントの実施など勉強になりました」「カンフォータブルケアの大切さを学べました」「納得や気づきがあり実践へのヒントとなりました」等たくさんのご意見を頂きました。

今から実践できる関わり方や専門的なポイントを聞くことができ、とても興味深く、お役に立つ講演になったと思います。今後ともたくさんのご参加をお待ちしています。



向かって左:岸本先生
右:石川先生

10月の 学会 情報

リフレケア
セミナーin岡山
19(土)
コンベックス岡山
(岡山市)

祭

ぷち★まめ知識

9月には「敬老の日」と「老人の日」があります。似ていますが、敬老の日は祝日法で定められた祝日で、老人の日は老人福祉法で定められた記念日です。敬老の日は「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」と定められていますが、老人の日は「老人自らが生活を振り返り、老人とともに老人福祉を見直す日」だそうです。内閣府はスローガン・目標作成し、老人の日と老人週間を広めるキャンペーンを行っています。

